

令和2年度
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2				総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数		活動状況
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景)	①まちを知る・人を知る	—	—	—	—	地域の「産業」を知り活かす活動として、シーニックカフェの連携活動のほか、道の駅摩周温泉のてしかが情報掲示板、シーニック情報スペース、開陽台展望館の中標津情報掲示板を制作し入浴施設・飲食施設・宿泊施設などの地域情報を提供した。 地域の「自然」を知り活かすための活動として、弟子屈空港跡地を利用した「そらの森植樹会」を開催したほか、道の駅摩周温泉の向かいにある水郷公園やなんだろ橋、釧路川といった「自然」を活用するための活動を行った。	
			—	—	—	—		
			—	—	—	—		
			—	—	—	—		
			—	—	—	—		
			—	—	—	—		
			—	—	—	—		
		ルートマガジンの発行	情報広報部会	通年	—			
		てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数	A - 1		
		中標津情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数	A - 1		
		シーニック情報スペースでの地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数			
		道の駅摩周温泉訪問者の水郷公園や弟子屈市街部への誘導	運営委員会	通年	不特定多数			
		②自然環境を知る・活かす	—	—	—	—		
			そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	令和2年10月3日	約40名		A - 2
			道の駅摩周温泉訪問者の水郷公園や弟子屈市街部への誘導	運営委員会	通年	不特定多数		
		③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	—	—	—	—		
			—	—	—	—		
			—	—	—	—		
			釧路川堤防試走会	景観まちづくり部会	令和2年9月19日	約25名		
			道の駅摩周温泉訪問者の水郷公園や弟子屈市街部への誘導	運営委員会	通年	不特定多数		
		④温泉を知る・活かす	—	—	—	—		
			—	—	—	—		
			てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数		A - 1
			中標津情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数		A - 1
			⑤体験活動を知る・活かす	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	令和2年10月3日		約40名
		—		—	—	—		
		—		—	—	—		
—	—	—		—				
釧路川堤防試走会	景観まちづくり部会	令和2年9月19日		約25名				

2)食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	—	—	—	—	地域の「食」を知り活かすため、9月に開催されたNEXCOサービスエリアでの地域の名産品をPRする活動を行った。また、ルートの特産品のブランド化に向けた検討を行った。		
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		NEXCO SAでのPR活動(おすすめ委員会での地場産品のPR)	シーニックカフェプロジェクト 観光交流部会	令和2年9月5日～6日	不特定多数			
	②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのブランド化検討	シーニックカフェプロジェクト 観光交流部会	イベント販売などでのPR	不特定多数			
3)文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	—	—	—	—	地域の「歴史」を知り、活かすため、昭和初期に撮影した阿寒や弟子屈の写真を掲示する「懐かシーニックパネル展」を川湯温泉駅開業90周年のイベントとして開催した。		
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
	②地域の歴史を知る・活かす	川湯温泉駅 開業90周年 懐かシーニックパネル	景観まちづくり部会	令和2年8月15日～9月30日	不特定多数			
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	令和2年8月8日	約30名	A - 3	地域の「沿道環境」を整える活動として、沿道花壇への植栽や駐車帯清掃を行い道路の美化を進めた。 物語のある道をつくる活動として、昭和初期に撮影した阿寒や弟子屈の写真を掲示する「懐かシーニックパネル展」を川湯温泉駅で開催したほか、弟子屈空港跡地を利用した「そららの」森植樹会を開催した。	
		①沿道の自然と暮らしの佇まいの景観を守る	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	令和2年6月	主催側 約1000名		
		②沿道の景観を整理・改善する。	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	令和2年8月8日	約30名		A - 3
			—	—	—	—		
			—	—	—	—		
		③物語のあるみちをつくる	川湯温泉駅 開業90周年 懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	令和2年8月15日～9月30日	不特定多数		
			—	—	—	—		
			ルートマガジンの発行	情報広報部会	年1回	不特定多数		
			そららの森 植樹会	景観まちづくり部会	令和2年10月3日	約40名		A - 2
			沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	令和2年6月	主催側 約1000名		
④地域が担い・育てる景観づくりを進める		駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	令和2年8月8日	約30名	A - 3		
		—	—	—	—			

4) 各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	HP、Facebook、インスタグラムによる地元情報の発信	情報広報部会	通年	不特定多数		SNSを利用し「顔が見える」「匂が伝わる」をテーマに観光情報等のヒト・モノ・コトの情報発信を行った。 地域を巡る観光客が安全、快適に地域のドライブルートを走行し、景観の良い場所やおいしいカフェを訪れられるように、地域マップやSNSでの情報提供を行った。 中標津町の地域FMである「FMなかしべつ(FMはな)」において、シーニックラジオを月に2回放送を行った。
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
	②観光案内施設等による情報提供	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェプロジェクト	年2回(夏期、冬期)	約1万8千部		
		ルートマガジンの発行	情報広報部会	年1回	不特定多数		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェプロジェクト	年2回(夏期、冬期)	約1万8千部			
	ルートマガジンの発行	情報広報部会	年1回	不特定多数			
	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数	A - 1		
	中標津情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数	A - 1		
	シーニック情報スペースでの地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数			
	道の駅摩周温泉訪問者の水郷公園や弟子屈市街部への誘導	運営委員会	通年	不特定多数			
	—	—	—	—			
	—	—	—	—			
④各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	HP、Facebook、インスタグラムによる地元情報の発信	情報広報部会	通年	不特定多数			
	—	—	—	—			
	—	—	—	—			
	—	—	—	—			

③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる	①地域(子ども達)への環境教育	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	令和2年10月3日	約40名	A - 2	平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での森づくり活動を本年も実施し、駐車帯の清掃活動も実施した。 釧路湿原・阿寒・摩周観光圏メンバーとして情報提供・検討会への参加・協力を行った。	
			駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	令和2年8月8日	約30名	A - 3		
			—	—	—	—	—		
			—	—	—	—	—		
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	②来訪者(観光客)へのインタープリテーション	ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェプロジェクト	通年	不特定多数			
				—	—	—	—		
				—	—	—	—		
				—	—	—	—		
	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	①自然を守るルールをつくる	②自然を保護・育成する仕組みをつくる	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	令和2年10月3日	約40名		A - 2
				—	—	—	—		—
				—	—	—	—		—
				—	—	—	—		—
		①コミュニティビジネスを育てる	②地域経済循環の仕組みを創る	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのブランド化検討	シーニックカフェプロジェクト 観光交流部会	イベント販売などでのPR	不特定多数		
				—	—	—	—		—
—				—	—	—	—		
—				—	—	—	—		
—	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数	A - 1				
—	中標津情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数	A - 1				

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：情報掲示板での地域情報の提供
(運営委員会)

【概要】道の駅「摩周温泉」において、地域手作りのアナログ情報板（てしかが情報掲示板）に入浴施設や飲食施設、宿泊施設のインフォメーションカードを置くことによって、町内施設の利用を促進するとともに、利用者のニーズを把握している。なお、一部店舗について、インフォメーションカードの裏面にクーポン機能を持たせることで、実際にカードを入手した人の行動変化を追跡調査している。平成29年秋から、開陽台展望館（中標津町）に「中標津情報掲示板」を開設し、2つの情報掲示板で連携して情報を提供している。

【日時】通年（中標津情報掲示板は、開陽台展望館のOPEN期間のみ）

【場所】道の駅「摩周温泉」（弟子屈町）、開陽台展望館（中標津町）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 運営委員会



▲てしかが情報掲示板
(道の駅「摩周温泉」)



▲中標津情報掲示板
(開陽台展望館)

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：そらの森 植樹会
(景観まちづくり部会)

- 【概要】 景観まちづくり部会では、そらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施している。令和2年度は10回目の植樹祭であり、地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットのシーニックの森づくりを行った。
- 【日時】 令和2年10月3日 9時～12時
- 【場所】 そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）
- 【主催】 景観まちづくり部会、シーニックカフェプロジェクト
- 【参加人数】 約40名（※新型コロナウイルス感染症を考慮して募集範囲を狭めたため）



参加者の集合写真



道路沿いへの白樺並木の植樹



そらの森での植樹活動の様子

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：駐車帯での景観改善活動
(景観まちづくり部会)

【概要】平成26年度から、弟子屈エリアにて、道路景観を改善するための活動としてルート内の駐車帯の清掃を開始。平成29年度から阿寒湖エリア、令和元年度からは中標津エリアでも同様の駐車帯清掃を実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、弟子屈エリアの清掃だけを実施した。清掃は比較的感染症が収まった8月に行い、健康チェックシートの記入や参加直前の検温、移動するバスの席の間隔をあけて換気（バスは2台用意）などを徹底した。また、今年度は「かわたびほっかいどう」と連携し、河川敷地の清掃も同時に実施した。

【場所】弟子屈町内及び秀逸な道試行区間の駐車帯、道の駅「摩周温泉」周辺（釧路川河川敷を含む）

【日時】令和2年8月8日 9時～12時

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 景観まちづくり部会

【参加人数】32名



参加者の集合写真（※かわたびほっかいどうとも連携）



当日の状況（左下：健康チェックシートでの確認、中央下：バス車内の着席・換気状況）

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2020/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	活動No	令和1年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業) 2) 食を知る・活かす 3) 文化や歴史を知る・活かす		懐かシーニックパネル展の開催	令和1年7月3日～ 令和1年11月30日	釧路開発建設部	・根室中標津空港ロビーにて行われた釧路開発建設部事業広報パネル展を活用し、阿寒・摩周の昭和初期の写真を展示する「懐かシーニックパネル展」を開催した。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。
			そらの森植樹祭	令和1年10月12日	釧路開発建設部 コカ・コーラ、弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に釧路開発建設部、コカ・コーラ、弟子屈町から職員が参加。	
			木育教室	令和1年10月12日	釧路開発建設部 コカ・コーラ、弟子屈町	・弟子屈町内で開催された木育教室に釧路開発建設部、コカ・コーラ、弟子屈町から職員が参加。	
			道東道開通PR活動でのルート紹介等 パンフレット配布	通年	釧路開発建設部 釧路市	・道東道開通PRイベント等において、釧路ルートのパネル展示や開通告知パンフレット配布の際にシーニックバイウェイ関連のパンフレットを配布し情報発信を行った。	
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える 2) 観光客を受け入れる環境を整える 3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する 4) 各種情報を伝える・蓄える		くしろ・ねむろ ぐるっと! スタンプラリーへの協力	令和1年4月27日～ 令和1年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリー実施にあたり、釧路開発建設部では、参加各「道の駅」との調整や報道発表を行った。	・行政連絡会議構成メンバー間の情報共有を密にするとともに、無理のない範囲で積極的な広報活動に取り組んだ。 ・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。
			摩周湖クリーンウォーク	令和1年6月1日	釧路開発建設部 弟子屈町、林野庁	・弟子屈町で開催された摩周湖クリーンウォークに、釧路開発建設部、弟子屈町、林野庁の職員が参加。	
			沿道花壇への植栽	令和1年6月	釧路開発建設部	・VSP活動の一環として釧路開発建設部から花苗等を提供した。	
			道東エンジョイマップの発行・配布	年2回(夏期、冬期)	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ ルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップの発行にあたり、中面ヒヤリハットマップの作成と道の駅やレンタカー会社への配布、報道発表を釧路開発建設部が行った。 ・施設内で来客者向けにマップの提供を行った。	
			景観マスタープラン	令和1年7月18日	釧路開発建設部 釧路総合振興局、鶴居村	阿寒湖エリア・釧路湿原の一部エリアで道路景観診断を行い、釧路開発建設部、釧路総合振興局、鶴居村から職員が参加。	
			広報(パネル展の実施)	令和1年8月3日	釧路開発建設部	・「くしろ港まつり」で行われた開発局事業広報活動の「はたらくるま&郷土芸能フェスティバル」にて、事業広報パネル展と合わせて道東エンジョイマップ等を配布することでPRを行った。	
			サイクルツーリズム	令和1年8月4日	釧路開発建設部	・釧路市から阿寒町までのサイクルと途中でゴミ拾いを行うサイクルツーリズムに釧路開発建設部が参加。	
			沿道ゴミ拾いクリーンウォーク	令和1年8月31日	釧路開発建設部 コカ・コーラ、弟子屈町、環境省	・釧路市阿寒町及び弟子屈町にて開催されたクリーンウォークに、釧路開発建設部、コカ・コーラ、弟子屈町、環境省の職員が参加。	
			広報(ルート活動の報道発表)	9月	釧路開発建設部	・「そらの森植樹祭」実施にあたり、活動PRのため報道発表および「北海道シーニックバイウェイ」トピックへの掲載を行った。	
			阿寒湖リバーサイドクリーンウォーク	令和1年11月2日	釧路開発建設部 環境省	・釧路市阿寒地区にて開催された阿寒湖周辺及び駐車帯清掃に釧路開発建設部、環境省職員が参加。	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2020/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	活動No	令和1年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括
		中標津クリーンウォーク	令和1年11月27日	釧路開発建設部 中標津町、環境省	・中標津町にて開催されたクリーンウォークに、釧路開発建設部、中標津町、環境省の職員が参加。	
		広報(ルート活動の広報誌掲載)	広報てしかが11月号	弟子屈町	・弟子屈町はルートの活動(そらの森)を広報誌に掲載することで住民へのPRを行った。	
		広報(道路情報板へのシーニックマークの掲示)	通年	釧路開発建設部	・国道上に設置している道路情報板へシーニックロゴとルート名を掲示し、ルートのPRを行った。	
		シーニックカフェへの観光パンフレットの提供	通年	釧路市、標茶町、弟子屈町、中標津町、別海町、鶴居村	・ルート内各自治体が観光パンフレットを提供することにより、シーニックカフェから魅力的な地域情報発信を行った。	
		シーニック情報提供スペースの常設	通年	弟子屈町 釧路開発建設部	・「道の駅」摩周温泉内にシーニックコーナーを常設し、場所の提供を弟子屈町が行った。釧路開発建設部は、他ルートパンフレット収集・配布によるPRを行った。	
		広報(ホームページ)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ ルート運営行政連絡会議	・各組織のHPへルートHPバナーやリンクを掲載し、ルートのPRを行った。	
		広報(ポスターの掲示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ ルート運営行政連絡会議	・ルートのポスターを各行政機関にて掲示することで、ルートのPRを行った。	
		広報(リーフレット類の庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ ルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップ等を庁舎内に展示することにより、ルートのPRを行った。	
		広報(ルート看板の国道への設置)	通年	釧路開発建設部	・ルート上の国道に「シーニックバイウェイ北海道」の看板を設置した。	
		広報(行政連絡会議通信の配布及び庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ ルート運営行政連絡会議	・釧路開発建設部が行政連絡会議通信の作成・配布を行った。 ・庁舎内展示により、一般の利用者へルート活動情報のPRを行った。	
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる 2) 自然を保全・活用する仕組みを創る 3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	そらの森植樹祭	令和1年10月12日	釧路開発建設部 コカコーラ、弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に釧路開発建設部、コカ・コーラ、弟子屈町から職員が参加。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。
		木育教室	令和1年10月12日	釧路開発建設部 コカコーラ、弟子屈町	・弟子屈町内で開催された木育教室に釧路開発建設部、コカ・コーラ、弟子屈町から職員が参加。	